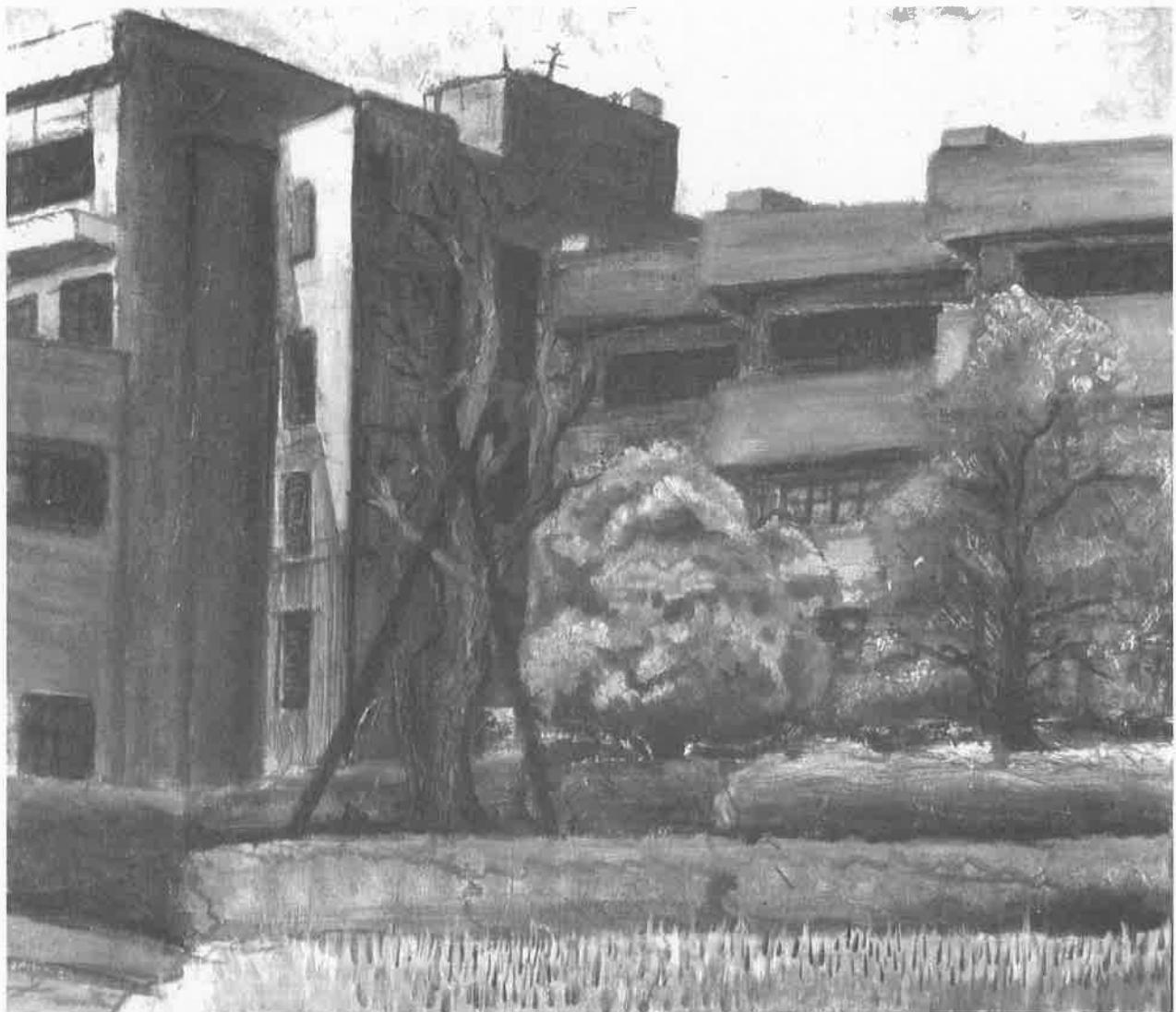


PTA会報

No.61 2014.10

嵩山



松江東高

日 次

- | | |
|---------------------|----|
| ○ P T A 会長挨拶 | 1 |
| ○ 校長挨拶 | 2 |
| ○ 特集① 「子どもを支えて」 | 3 |
| ○ 特集② 「昼食に関するアンケート」 | 6 |
| ○ 部活結果一覧 | 8 |
| ○ 東雲 祭 | 14 |
| ○ 教職員紹介 | 16 |
| ○ P T A 会務報告 | 21 |
| ○ 編集後記 | 22 |



Walk, Don't Run!



PTA会長 生和康宏

いつの頃からか、一年が、一ヶ月がとても早く過ぎるようになりました。原因は日々の出来事が今までに経験したことばかりで、感動しなくなってしまったからだと言う人がいます。確かに音楽を聴いても、本を読んでも昔ほど感動しなくなつたような気もします。しかし、人が生きていく中で、感動が無いことはとても無味乾燥で味気ないというか、生き甲斐がないと言つても言い過ぎではないでしょう。多分、というか絶対に今の東高生達の感じている、過ごしている時間は、私より圧倒的に長いことでしょう。

人間、何歳になつても色々なことに感動できる感性は失いたくない。八月の高P連全国大会の講演で、脳科学者の茂木健一郎さんは、出来なかつた事が出来た時に、ドーパミンという脳内物質が出て、脳は成長できると力説しておられました。私もまだまだ経験したことが無いことが沢山あります。東高生に負けないように、常に好奇心を持つて、チャレンジし続けていきたいと思います。この夏に高校の同窓会があり、いつも見ている顔、また正直誰だか解らない人など様々な同級生と話す機会がありました。都会で出版社に勤め、

著名な作家と本の出版に関わっている人、子育てをしながら仕事を続け、現在は単身赴任で仕事をしている女性、地元でのサラリーマン生活に区切りをつけ、古民家での暮らしを始めようとする男性。三十人ほどの人数の中でも、その人が過ごしてきた環境や生活、親や兄弟、友人などとの関わりなど高校卒業後、三十六年が過ぎた同級生たちにも、様々な人生が見え隠れし、非常に考えさせられた一夜でした。しかし、何歳になつても高校時代という多感な三年間を一緒に過ごした連帯感は共通のもので、心置きなく、腹を割つて話せた、まつたく気持ちの良い時間だつたと思います。

保護者の皆さん、先生方も様々な経験を通じて、生徒を育て、指導していらっしゃいます。生徒たちの多くは、将来の進路について、夢、あこがれ、不安が入り混じって、悩んでいるのではないかと思います。ご両親、先生方の指導、同級生、先輩や後輩との語らいを通じて、最後は自分で判断できる力が必要ですが、自分は多くの皆さんに育まれて成長していることを忘れてはならないと思います。

今の東高校生を見ていると、非常にのびやかで、

素直であり、協調性も持ち合わせている生徒が多いように見えます。自分の時代と比べるとある意味大人であるとも言えるかもしません。現代の情報量については比べようもなく、膨大な量、様々なレベルの情報が子ども達のまわりには渦巻いています。良くも悪くもその情報を上手く利用する力も求められているのが現代の高校生であります。一方、大量の情報が却つて自分の将来を狭めているような気もします。そして、それらの情報を持つても、三十六年後の自分の姿が描ける人は誰もいないと思います。

今、高校卒業後の自分をしつかりと描いてみることはもちろん必要なことです。その上で歩みだした道を途中で見直す時間、機会があることも、子どもたちには知つていて欲しいと思います。どうしても間近に迫つた進路に不安を感じるのは仕方がありません。これから子ども達には様々な可能性、そして挫折もあると思います。その時人生の先輩として、彼らをはげまし、また歩いて行けるように、勇気を与えるように、私達保護者も先生方と一緒になつて、子ども達を見守つていきたいと思います。皆、走らなくていい。ゆっくりと、好奇心を持つて、歩き続けていつくれることを願っています。



東雲祭を終えて

校長 飯塚 勝

校長として本校に赴任して五ヶ月が過ぎました。

東高勤務は初めてですが、かつて西川津に住んでいた縁で、娘三人が東高にお世話になりました。今、廊下を歩きながら、授業を参観しながら、また色々な行事に出会うたび、ふとした瞬間に「ああ、わが子は、ここでこんな風にして高校時代を過ごしたのだな」と、わが子への懐かしいような愛おしいような感慨にとらわれることがあります。自分の子どもが実際に過ごしている空間に足を踏み入れてみると、それは親が子どもとつながる上で一つの重要な契機となるのだと再認識しています。

九月三日から五日に行つた東雲祭には、多数の保護者の皆さんにお出かけいただきました。子どもたちの過ごしている空間を目の当たりにしていただく良い機会でした。また、夏休み以降多くの卒業生が来校してくれましたが、この日も多数の卒業生が後輩たちの姿を見に来てくれました。生徒の「旬な姿」を通じて多くの人がつながる行事となつたことを嬉しく思っています。

さて、「東雲祭」。本校生徒会誌は「東雲」。卒業生会は「東雲会」。「東雲」は、本校創設時の生

徒諸君の発意によって選ばれた語もあり、東高の代名詞とも言える語です。「東雲」の語意は明け行く空。未来への希望を感じさせる語です。今年の東雲祭も、生徒たちの持つ良い面がたくさん現れた。希望を感じせるものでした。中でも、生徒たちの持つ資質として最も感じたのは「素直」「純真」ということです。みんな、本当に純粋に東雲祭を楽しんでいました。楽しむ力を持つていました。「楽しむ」ことは、周囲に元気を与える、周囲を変えていく力を持つています。楽しむことができる力を持つた生徒たちに希望を感じます。

私は、この東雲祭にあたり、古い歌ですが本田路津子さんの「ひとりの手」という歌を生徒に紹介しました。

「ひとりの小さな手 何もできないけど それでもみんなの手と手を合わせれば 何かできる 何かできる」

この歌の内容を生徒に実感して欲しいと願つていました。締めくくりの体育祭閉会式の、生徒たちのやり遂げたような様子、屈託のない笑顔からすれば、おそらく生徒は私の願いを成就してくれたのではないかと思います。

本年度の本校の重点目標の第一には、「人にとって、多様性を持つ他者と協働して（つながって・関わって）いくことがとても重要なことだと考へているからです。東雲祭は、重点目標達成の一里塚であったとも思います。

東雲祭を終えて、本校の勤務が長い先生が「生徒は、こうやって東高を好きになつていくんですよ」と笑つて話してくださいたことがとても印象的でした。東高の良さは、実際にそこに足を踏み入れ、自分で肌で感じてみることで初めて実感できるのかもしれません。

保護者の皆さんにも、できるだけ今の東高の姿を実際に感じていただけるように少しでも努めていきたいと思っています。年度後半も、どうぞよろしくお願ひします。



特集① 子どもを支えて

弦楽部

長岡元美

我が子の成長について、「気が付けばもうそんな段階なのか」と改めて思いました。

これから、一歩一歩、大人の世界に足を踏み入れていく我が子、自立を前にした我が子に、親としてどう向き合えばいいのか、今までどう向き合ってきたのか……親の役割は、我が子の成長を支え、最終的には自立をさせてやることだと思います。

子供は成長するにつれ、自分の世界を広げていきます。高校生にもなれば、勉強、部活、友人関係などが日常のほとんどを占め、家中で顔を合わせる時間も少なくなり、なんとなく親と子の関係が希薄になつていくようになりますが、反面、たまにいろんな不安や悩みを打ち明け、実は親の理解や支えを必要としていることが判つた時など、安心し、「よし、我が子のために一肌脱いでみよう」という気持ちになるものです。

沢山の友人に恵まれ、部活や生徒会と東高生活を満喫した息子。多くの人に支えられここまでこれた事に感謝し、次のステップに挑んでほしいと願います。

バドミントン部 内藤 緑

野球部

新宅和江

バドミントン部

内藤

緑

我が家三男、斗真の夏が終わりました。夏の大会には校長先生をはじめ先生方、同級生、OBの方、OBの保護者さんなどたくさんの方に応援して頂きました。本当に感謝の気持ちで一杯です。

我が家三男、斗真の夏が終わりました。夏の大会には校長先生をはじめ先生方、同級生、OBの方、OBの保護者さんなどたくさんの方に応援して頂きました。本当に感謝の気持ちで一杯です。

高校合格と共にバドミントンという初めての競技に興味を持ち、即決で入部を決めました。思つていた以上に、ハードな練習内容と勉強の両立は精神面でも体力的にも、かなりきつかった様です。見守るしかできない事に焦りを覚えたのは、先輩達の引退と共に、キヤブテンというさらなる重圧の役割を担つた時でした。

部員をまとめ事の難しさと先生の期待に応えられないもどかしさで悩んでいた我子の姿を見てるのは、本人の為と言えどもつらいものがありました。そんな中、いつも本人の口から出てくるのは、仲間の存在でした。部員の仲の良さは話を聞いているだけでも伝わり、助けられている事が良くわかりました。話を聞いてやる事しかできず、何も娘の支えになつてやる事はできませんでしたが、この三年間は、本人の充実した時間を過せた

ついでに

最後になりましたが、部活動を支えて下さった朝楓先生、山崎先生、大石先生、岡藤先生、周藤先生、津森コーチ、本当にありがとうございました。



テニス部

飛 智 恵



もう高校生なのだから、部活動のことも含め基本的に自分のことは自分でやつてほしいと思つていました。なので、遠隔地での練習試合の送迎やウエアの洗濯などサポートしたのは必要最低限のことだつたと思います。

それでも、勉強と部活の両立や、キャプテンとしてのプレッシャーで悩んでいるようだつたとき、見かねて私の意見を伝えたことがあります。しかし、息子なりに自分の考えがあつたようで、最後には自分の意思を通しました。そんな様子を見ていると、親が知らない間に自分の考えをちゃんと育てているのだな、とその成長を頼もしく思つたこともあります。

親にできるのは、健康と、できるなら自分の希望に近い人生を歩んでほしいと、願うことくらいだと思います。あと少し、成長を見守りながら支えていこうと思っています。

書道部

久保田 美佳

東高での三年間、大きく成長したように思いました。

高校入学してすぐに書道部に入部し、顧問の先生の御指導のもと、様々な作品を仕上げる事が出来ました。また、パフォーマンスでは、初めて全国大会の予選にも参加してみたりと新しい事にも挑戦するなど色々な経験をさせていただきました。村上校長先生の退職の日、是非見て頂きたいと中庭に大きな紙を広げ、パフォーマンスを披露した時に流れた涙は子どもの中でとても素敵な思い出となつたことでしょう。

様々な面で支えて下さった先生方、そしてやさしい友人や部活の仲間達に感謝の気持ちでいっぱいあります。

ありがとうございました。

こんなに涙を見せる娘の姿を見たのは小さな子供の時以来でした。

藤原圭子
バレーボール部

あまり物事にこだわらずそれなりに流して生きて来た娘にとつて、キャプテンという立場は思う様にいかない事の連続だつたようです。自分の技術の未熟さ、起くる出来事にどう対応して良いのか判らず、正解のない問題に挑んでいるようでした。

娘といえども正解が判るはずも無く、泣いている娘に寄り添い納得いくまで話を聞き、時には一緒に泣いて叱つてみたり励ましてみたり…。そして「いつだってあなたの味方でいるからね」と背

娘との楽しい一時を過ごせて良かつたと思います。又吹奏楽部の定期演奏会では、たくさん地域の方々からのご支援もあり、部員全員がその感謝の気持ちを演奏で伝えていた姿は、この三年間いつも感動していました。

日々の勉強と部活との両立はとても大変で大丈夫だろうかと心配する事もありましたが、ここまで三年間続けられたのは、苦しい時も良き仲間に支えられ、先生方にご指導いただき、たくさんの方々にお世話になつた事だと思います。皆様に感謝申し上げます。

これからも東高吹奏楽部を応援しております。

吹奏楽部

安部由美

娘が東高で吹奏楽がしたいと入学をしたあの日からあつという間に三年がたちました。

朝も朝練をする為、七時には娘と一緒に家を出発し、帰りも七時に迎えに行くという、多忙な毎日だつたかと思いますが、その毎日の送迎での時間が唯一娘とのコミュニケーションの場でもあり、

中を押してやるのが精一杯でした。

何とか一年無事に終る事ができ、支えて下さった先生、娘の友人達に心から感謝致します。そして「支えて」というよりは「一緒に悩んだ」一年は、沢山の会話と思い出ができ、貴重な体験は娘の人生の財産になつたと嬉しく思っています。

がとうございました。

サッカー部

山本貴子

美味しいご飯、ときどき送迎。

高校に入り念願のサッカー部。中学でやつてないという差を実感しながらも、やめたいとは一度も言いませんでした。

自宅からはバスを乗り継ぎ一時間。部活後またその道をたどるのは、つらい時もあつたと思いません。いつも向かえに出れる準備はしているのですが「迎えに来て」ではなく「最終のバスで帰るから」という連絡だけがありました。とはいえるが少ない休日は試合等を見るチャンスでした。

私は子供を支えているというより、むしろ支えられていると感じています。頑張っている姿を見たり、送迎や差し入れした時の「ありがとう」の一言が自分の励みであり支えでした。また、様子を見ていると多くの人に支えられている事にも気づかされました。最後になりましたが、今まで関わって下さったすべての方に感謝致します。あり

ハンドボール部

船越裕子

三年前東高に入学したのと同時に、高校へ入ったら新しい事もやつてみたいと小学校から続けていた野球ではなくハンドボール部に入部しました。本人が決めた事だからと納得しつつ、それまであまり馴染みのないハンドボール部に少し物足りなさを感じたのを覚えています。ですが、入部した当初から良い先輩方にも恵まれて毎日楽しそうな姿を見ていて安心したのもすぐでした。

そして私自身も練習試合、時折ある大会へも足を運びました。新人戦では見事優勝、中国大会出場を果たしました。山口へも選手のバスに乗り込み一緒に楽しませてもらいました。総体では残念な結果に終わりましたが、この二年間積み重ねてきた事が、これから的人生の糧になると信じています。

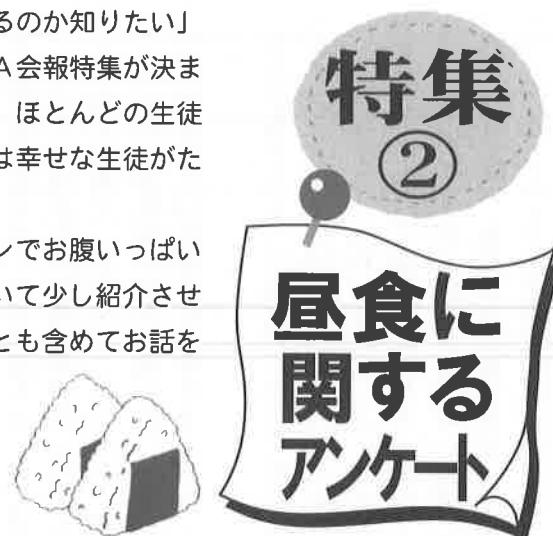
ご指導いただいた先生方、ともに励ましあつたチームメイトに出会えた事を感謝いたします。ありがとうございました。



「子どもたちが学校で、お昼にどんなものを食べているのか知りたい」という広報委員会の一言で、今年度第一号となるPTA会報特集が決まりました。夏に全生徒対象でアンケートを行ったところ、ほとんどの生徒がお弁当を作つもらっているようです。松江東高校には幸せな生徒がたくさんいるんだなという印象を受けました。

松江東高校には、豊富な品ぞろえの売店と、ワンコインでお腹いっぱい食べられる食堂があります。今回の特集では、食堂について少し紹介させて頂きます。また、本校出身の教員にも、学生時代のことも含めてお話を聞いてみました。

毎朝早起きされて、お弁当を作つもらられる保護者の方々。たまには、お子様に食堂を利用してもらって、朝をゆっくり過ごされてはどうでしょうか。



アンケート集計結果

1. 学校でのお昼はどうしていますか

1年



2年

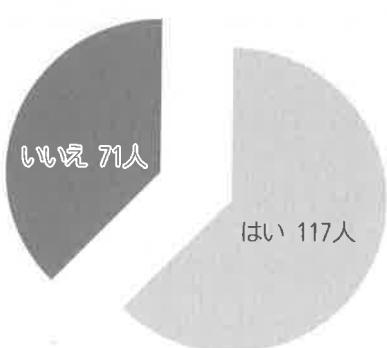


3年

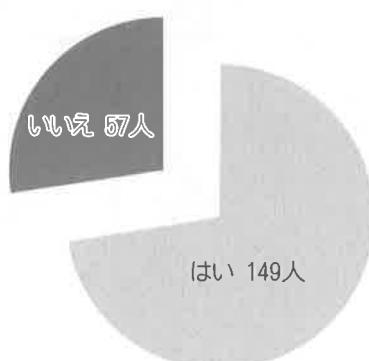


2. 食堂を利用したことがありますか

1年



2年



3年

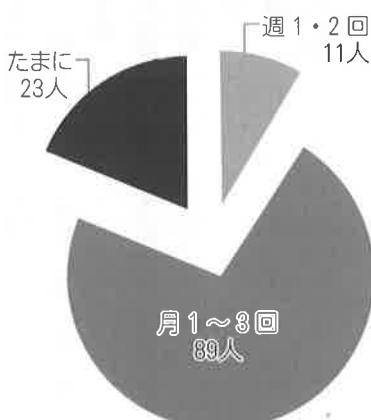


3. 食堂をどのくらい利用しますか

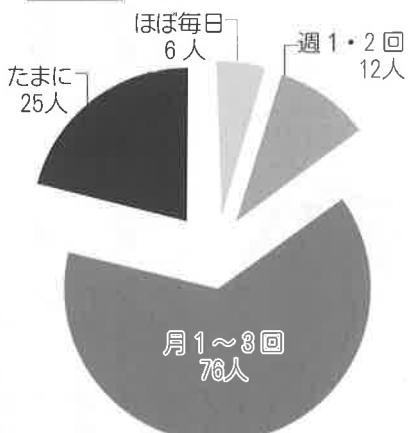
1年



2年



3年



4. おすすめメニューは何ですか

オススメNo. 1のミソカツ

No.	メニュー	人数
No. 1	ミソカツ	55人
No. 2	から揚げ丼	47人
No. 3	肉うどん	32人
No. 4	東々麺	24人
No. 5	オムハヤシ	13人



東高出身教員より

高校生のときは、毎日お弁当を作っていましたが、弁当だけでは足りないときに、食堂に行ってラーメンを食べていました。今となっては信じられない食欲ですが、当時は部活に勉強に遊びにと全力で動き回っていたのであれくらい食べられたのかなと思います。教員になってからは、誰にも弁当を作ってもらえないで食堂に毎日のようにお世話になって温かいご飯を頂いています。

食堂のおばちゃんより
(中澤さん、日野さん)

東高の食堂は「目で見ておいしく、食べてさらにおいしく」をモットーに営業しています。衛生面に気を使うことは勿論、限られたお昼休みの中で食べられるように準備をして早く料理を提供しています。また、肉がメインのメニューには必ず野菜を取り入れ、バランスのとれたメニューを考えています。だしは昆布やカツオから取るなど、おいしさにもこだわっています。

できる限りのリクエストには応えられるので、食べたいものがあれば是非教えてください。たくさんの生徒さんが来てくれるのを食堂でお待ちしています。

平成26年度前期部活動

平成26年度結果一覧（8月31日まで）

陸上競技部

《出雲陸上》

男子一五〇〇M

男子四×四〇〇MR

女子一〇〇M

男子二〇〇M

女子一〇〇M

男子三段跳

女子一〇〇M

男子二〇〇M

女子一〇〇M

《全山陰陸上》

男子一五〇〇M

女子一〇〇M

男子四×四〇〇M

女子一〇〇M

男子二〇〇M

女子一〇〇M

男子一〇〇M

女子一〇〇M

男子一〇〇M

女子一〇〇M

男子一〇〇M

女子一〇〇M

男子一〇〇M

女子一〇〇M



剣道部

《中国大会予選》

男子団体戦 第3位
2回戦 準々決勝

松江東 0 3 対 0
松江北 大田

松江東 0 3 対 1
大社

松江東 0 3 対 0
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 0
出雲商

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

松江東 0 3 対 1
飯南

松江東 0 3 対 1
横田

《玉龍旗大会》

女子

1回戦

松江東

3人残し勝利

2回戦

松江東

敗退

対

八幡

(福岡)

男子

1回戦

松江東

1人残し勝利

2回戦

松江東

敗退

対

唐津工業

(佐賀)

《県総体》

男子

1回戦

松江東

1人残し勝利

2回戦

松江東

敗退

対

興南

(沖縄)

3回戦

松江東

敗退

対

横田

5人抜き

《県総体》

女子

1回戦

松江東

1人残し勝利

2回戦

松江東

敗退

対

唐津工業

(佐賀)

3回戦

松江東

敗退

対

横田

5人抜き

《中国大会県予選》

男女個人戦

竹下：3回戦敗退
江戸、水凌、藤原、伊藤、島田：初戦敗退

松江東 0 対 4
八頭

松江東 0 対 4
倉敷

松江東 0 対 4
鳥取西

松江東 0 対 4
下関商

松江東 0 対 4
鳥取西

松江東 0 対 4
倉敷

松江東 0 対 4
鳥取西



書道部

高文連書道コンクール結果

特選 三年 小森 日菜子

三年 久保田 恭佳

二年 竹原直子

一年 杉原千晶

書道パフォーマンス甲子園予選大会

中国ブロック4位(予選敗退)

第四十六回島根県高校書道展

全国高等学校総合文化祭参加

三年 久保田 恭佳

美術部

平成26年度総体ポスター

佳作 八尾佳名子

平成26年度高文連松江地区絵画コンクール

入選 11名

鈴木弘明・野津光平
渡部ありさ・山内モモモ

足立麻由香・三成春菜
八尾佳名子・城市奈緒子

坂本雅貴・大塚友貴
麻友美

弦楽部

六月十五日 島根県立松江東高等学校弦楽部

第九回定期演奏会(於: プラバホール)

新体操・水泳

《島根県高校新体操選手権大会兼中国大会島根県予選》

新体操女子個人 総合 2位 武田千夏

ボーリル 2位 武田千夏

フープ 3位 武田千夏

新体操女子個人 総合 2位 武田千夏

ボーリル 2位 武田千夏

フープ 3位 武田千夏

武田千夏

《県総体》

女子一〇〇Mバタフライ 4位 下村夏紀

女子四〇〇M個人メドレー 2位 下村夏紀

《中国大会》

女子一〇〇Mバタフライ

予選33位 下村夏紀

予選17位 下村夏紀

女子四〇〇M個人メドレー

平成26年度全国高校総合文化祭茨城大会美術
工芸部門参加
(絵画部門) 「他人」 八尾佳名子



東雲祭

～文化の部～

9月3日・4日



～体育の部～

9月5日



【結果】

合 唱	第1位	16R
総合学習発表	最優秀	11R
イーストフェスタ	第1位	22R
デコレーション	第1位	黄組
応 援	第1位	青組
競 技	第1位	黄組
總 合	第1位	黄組



教職員紹介



教頭
坂根昌宏
(地歴公民)



校長
飯塚勝
(国語)



重並公一
(数学)
12R副担任



尾原美香
(英語)
12R担任



梶山留未
(英語)
11R副担任



中村伯也
(国語)
11R担任



太田知伸
(音楽)
14R副担任



野崎愛里
(生物)
14R担任



安部まどか
(数学)
13R副担任



橋本恵一
(保健体育)
13R担任



石橋直子
(国語)
16R副担任



福井有希
(英語)
16R担任



北野美和
(家庭)
15R副担任



伊藤淳史
(数学)
15R担任
1年学年主任



服 部 明 奈
(英語)
21R 担任



陶 山 裕 史
(地歴公民)
1年学年付



五明田 洋 子
(養護)
1年学年付



Sarah Blenkhorn
(A L T)
1年学年付



新 宮 美也子
(国語)
23R 担任



滋 野 紗世子
(英語)
22R 副担任



大 塚 敬 之
(国語)
22R 担任
2年学年主任



小 松 正 道
(保健体育)
21R 副担任



竹 田 育 子
(英語)
25R 担任



小 松 麻 里
(数学)
24R 副担任



田 中 志 宜
(物理)
24R 担任



多 賀 秀 哉
(地歴公民)
23R 副担任



山 本 女 理
(養護)
2年学年付



鷺 野 亜 紀
(英語)
26R 副担任



朝 槻 真 也
(数学)
26R 担任



大 石 猛
(化学)
25R 副担任



佐藤秀人

(保健体育)
31R副担任



青山靖夫

(数学)
31R担任



正村修

(数学)
2年学年付



深津学

(地歴公民)
2年学年付



原慶三

(地歴公民)
33R副担任



山崎慎司

(化学)
33R担任



寺井直

(数学)
32R副担任



福田貴子

(物理)
32R担任



佐藤剛

(保健体育)
35R副担任



足立みどり

(英語)
35R担任



山内竜夫

(国語)
34R副担任



石川智

(数学)
34R担任



玉木伸人

(生物)
37R副担任



持田綾子

(国語)
37R担任
3年学年主任



宮田孝之

(地歴公民)
36R副担任



大國晴吾

(英語)
36R担任



山本幹男
(国語)



緒方孝
(英語)
3年学年付



恩田大輔
(実習助手)
3年学年付



宇津井康興
(美術)
3年学年付



松嶋博
(数学)



渡部俊美
(地歴公民)



田中芳美
(地歴公民)



松村雅之
(生物)



三上美由紀
(家庭)



辻原美和子
(書道)



伊藤みね子
(書道)



松本善美
(化学)



岡崎由希
(学校司書)



持田慎吾
(主幹)



岸本裕之
(企画幹)



錦織洋子
(事務長)



久保田 実
(事務員)



小櫻 彩子
(事務員)



安木 和代
(事務員)



徳田 小通
(事務員)



佐藤 公昭
(警備員)



編集後記

この春、息子が入学して二人の子供が東高にお世話になる事になりました。

子供達は、部活に勉強に本当に頑張らなくてはいけない三年間です。楽しくて笑う事も沢山あると思います。そして辛くて落ち込む事も。そんな時こそ笑って、笑い飛ばせるように親として支えていきたいと思っています。

人生は、笑つてなんば。

笑つて卒業しましょう。

東高生達!!

広報委員 野津由起子

同じ中学からは数人の入学式でしたが、学級でも部活でも楽しく、少しホツとしました。

考えてみれば高校の三年間は、子どもから大人へ脱皮する複雑な季節。自ら一生懸命に糸を出し、時々絡まつたりしながら、各々の個性豊かな繭を作つていくのが楽しみです。

今年数回、嵩山に登る機会があり、この会報の名に親しみを覚えました。頂上の大根島や大山の絶景！ 東高のある、奇麗な箱庭の川津が現れると、古事記の頃からずっと見守られている気持ちになりました。そして東高生は、きっと今日も！

広報委員 野口朱美

今年になりましたが、先生方、保護者の皆様のご協力を得て会報誌が発刊できましたことを嬉しく思います。ありがとうございました。

広報委員 小森峰子

広報委員

中滋	土磯	松	小野	野	津	由起子
村野	江	田	森	本	朱	
伯紗	聖	康	万峰	一里	美子	
也子						



（表紙の絵）	22	R	梶野 雅貴
題字			
P T A 会報			
嵩山 森脇 哲朗 上田久美子 (旧本校教員) （十三期生保護者）			